

令和3年第1回（定例会）吉備中央町議会会議録（6日目）

1. 令和3年3月23日 午前 9時30分 開議

2. 令和3年3月23日 午前11時08分 閉会

3. 会議の区別 定例会

4. 会議の場所 吉備中央町議会議場

5. 出席議員

1番	成	田	賢	一	2番	山	本	洋	平
3番	石	井	壽	富	4番	渡	邊	順	子
5番	山	崎		誠	6番	加	藤	高	志
7番	河	上	真	智子	8番	黒	田	員	米
9番	日	名	義	人	10番	丸	山	節	夫
11番	西	山	宗	弘	12番	難	波	武	志

6. 欠席議員

なし

7. 会議録署名議員

11番	西	山	宗	弘	1番	成	田	賢	一
-----	---	---	---	---	----	---	---	---	---

8. 議場に出席した議会事務局職員

議会事務局長	杉	原	宏	典	書	記	堀	恵	子
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

9. 説明のため出席した者の職氏名

町	長	山	本	雅	則	副	町	長	岡	田	清				
会計管理者	石	田	卓	己	総	務	課	長	大	木	一	恵			
税務課長	亀	山	勝	則	企	画	課	長	片	岡	昭	彦			
協働推進課長	河	内	啓	一	住	民	課	長	小	谷	条	治			
福祉課長	奥	野	充	之	保	健	課	長	石	井	瑞	枝			
子育て推進課長	石	井	純	子	農	林	課	長	山	口	文	亮			
建設課長	岡	本	一	志	水	道	課	長	高	見	知	之			
教委事務局長	富	士	本	里	美	定	住	促	進	課	長	岸	本	久	夫

10. 議事日程

日程第1

会議録署名議員の指名について

- 日程第2 議案第20号 令和3年度吉備中央町一般会計予算について
- 日程第3 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
- 日程第4 同意第1号 教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて

(追加日程)

- 追加日程第1 発議第1号 選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書について

- 追加日程第2 閉会中の特定事件(所管事務)の調査について

1 1. 会議に付した議案の題目及びその結果

- | | | |
|--------|-----------------------------|----|
| 議案第20号 | 令和3年度吉備中央町一般会計予算について | 可決 |
| 諮問第1号 | 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて | 適任 |
| 同意第1号 | 教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて | 同意 |
| 発議第1号 | 選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書について | 可決 |
| | 閉会中の特定事件(所管事務)の調査について | 決定 |

午前 9時30分 開 議

○議長（難波武志君）

おはようございます。

ただいまの出席議員は12名です。定足数に達しておりますので、これより直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付したとおりです。

~~~~~

○議長（難波武志君）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、議長において、11番、西山宗弘君、1番、成田賢一君を指名します。

~~~~~

○議長（難波武志君）

日程第2、議案第20号、令和3年度吉備中央町一般会計予算についてを議題とします。

これより質疑に入ります。

御質疑はありますか。

8番、黒田員米君。

○8番（黒田員米君）

それでは、数点お尋ねしたいと思います。

まず最初に、76ページのまず児童福祉総務費の中の小児等医療費、これが昨年に比べますと若干金額が落ちてきていると思うんですけど、この理由を教えてくださいと思います。

その下の児童措置費の中の、これも扶助費になりますけども障害児支援給付金、これについては年々、多分逆に上がってきているかと思しますので、この辺りの理由を教えてくださいと思います。

それから、ちょっと飛びまして、82ページの負担金補助及び交付金の中の上から3段目の、地域医療機関等運営補助金、これがどういうことをされるのか、内容をお尋ねしたいと思います。

さらにその2段下、共同作業所の交通費の助成でありますけども、これが若干下がって

きておりますけども、この理由、対象者が減ったのかどうか、その辺りをお尋ねしたいと思います。

それと、83ページの委託料と工事請負費、これは同じ内容になろうかと思っておりますけども、特定空家等の除却工事の設計業務と工事、これのちょっと内容を、現状をお知らせいただきたいと思っております。

それと、85ページのちょうど真ん中辺りになりますけども、負担金補助及び交付金の中の塵芥処理費の負担金、これが若干上がってきておりますけど、これの内容をお知らせいただきたいと思っております。

それと、118ページの負担金補助及び交付金の中の校外学習助成金、これが新たに多分出てきているんだと思っておりますけども、これの内容をお知らせください。

それと最後に126ページの、これも負担金補助及び交付金の中のちょうど真ん中にありますけども、公民館の活動交付金、これもこの年度より新たに発生したものだと思われまますので、その内容をお知らせいただきたいと思っております。

以上です。

○議長（難波武志君）

答弁を許します。

石井保健課長。

○保健課長（石井瑞枝君）

黒田議員の質問にお答えします。

まず76ページの小児医療につきましては、前年度の小児医療の医療費の毎月の集計をして、それを基に次の年を出しております。人数の減少等により医療費は少なかったということで、今年度は若干少なめに見ております。

それから、82ページの地域医療関係等運営補助金は、町が誘致した医療機関、薬局等も含めてその法人、団体へ協力金を出すというものです。

それから、共同作業所につきましては、人数の減少によって減少となっております。

以上です。

○議長（難波武志君）

石井子育て推進課長。

○子育て推進課長（石井純子君）

障害児支援給付費の増額についての御質問なんですが、発達障害等のお子様が療育に通

って、その給付費として国保連合会のほうへ支払うお金なんですが、これ当初、今年の4月1日では放課後デイサービス、これ小学生が利用するものなんですが、50名だったものが現在3月1日では55名、それから児童発達支援が、これは保育園、幼稚園の子供たちになるんですが、20名だったものが35名に利用者が増えております。

これ、発達障害っていうのは何が原因かまだよく分かってないんですけど、こだわりがあったりとか、多動であったりとか、知的には関係なく生活面でちょっと気になるお子さんについて早めの手だてをして、小学校へ送るとか社会に出るとかというような療育をすることですので、今現在これとてもハードルが低くなっていて、保育園とか小学校とか、例えば先生方が、あっ、ちょっとこの子気になるなといったところで見させていただいて、その療育へつなげていくっていうような活動をしておりますので、年々増加傾向にあるのは、受給者が増加傾向にあるんですが、これはもう早めの手だてが必要ということなので、来年度もちょっと増額という形になってます。

以上です。

○議長（難波武志君）

小谷住民課長。

○住民課長（小谷条治君）

それでは、黒田議員の質問にお答えします。

83ページの空き家等の関係でございますが、以前から特定空家として町のほうから助言、指導とか勧告などを行っておりましたが、その空き家につきまして、所有者の方が何ら措置をしないということで代執行ということに期限が来ますとなりますので、その費用としまして設計費とそれから除去費用のほうを計上しております。

それから、85ページの塵芥処理費の負担金の増につきましてですが、これにつきましては、高梁市の事務組合、高梁クリーンセンターですが、これの業務委託につきまして長期包括的業務委託ということで、10年間の委託管理を行うようになりました。その関係で大規模修繕を今まで行っておりませんでした、それを計画的に行っていくということで負担金が増となっているものでございます。

以上です。

○議長（難波武志君）

富士本教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（富士本里美君）

118ページの校外学習助成金ですが、これは小学校の修学旅行時のバスの借り上げ料を1台増量を見込んでおります。

それから、126ページの公民館活動交付金です。これについては、去年までは共同募金会のほうから地域のために使ってくださいというような形で募金が来ておりました。ここで社協のほうも見直しをされて、ちょっと公民館に交付するのはおかしいんじゃないかということで、来年度からはいただけないようになりました。そういうこともありまして、それから、公民館によってはいろいろ活動したいという公民館もありますので、交付金については一定の金額で定めておりますので、それ以上活動される公民館については交付金を出そうということで別仕立てをしております。

以上です。

○議長（難波武志君）

8番、黒田員米君。

○8番（黒田員米君）

おおむね内容を理解させていただきました。それで、その中で76の障害児の支援給付、これについては先ほど課長の説明の中で、早期の発見で早期に対応していくという旨、本当にこれから大切だと思いますんで、この辺りを積極的に対応していただいて、それこそ子供さんのみならず、多分御家族包括的な対応が必要だと思いますんで、ぜひその辺りはしっかりと見ていただきたいと思います。

1つだけ、83の特定空家の除去工事、これはもう場所もおおむね理解するところではありますけれども、設計業務、これが今回143万8,000円という金額が上がっているんですけど、これ自体は今崩れかかっている建物を設計で除去する、その設計費用、これがどうなんでしょうか、ちょっと私個人としては若干高そうな感覚を持つんですけども、この辺りはどういうふうな設計をしていただけてるのか。ちょっともう少し詳しくお知らせいただきたいと思います。

○議長（難波武志君）

答弁を許します。

小谷住民課長。

○住民課長（小谷条治君）

黒田議員の質問にお答えします。

設計につきましては、建物自体崩れかけているということではありますが、国の補助とか

県の補助をもらってするという関係で、量のほうを算出しないといけないということで、その量の算出などについてしっかりとした根拠を作るということで設計費を上げております。この設計につきましては、見積書をいただいてその中で安いところというふうにしておりますので、減額になるのではないかというふうには思っておりますが、そういった関係でこの金額を当初のほう、上げさせていただいております。

○議長（難波武志君）

8番、黒田員米君。

○8番（黒田員米君）

量のほうから算出ということで理解をしました。

これ最終的に個人さんのほうへ負担を、行政が立替えをしているものを請求をかけていくわけでありますけども、その辺り、きちりと行政のほうからも御本人さんのほうへしっかり指導していただいて、これが町民負担にならないように、全力といいますか、しっかり回収できるようにお願いしたいと思います。

最後の最後になりますけども、これ以外が、今の一軒家以外に今後想定される場所があるのかどうか、これをちょっと最後にお尋ねしたいと思います。

○議長（難波武志君）

答弁を許します。

小谷住民課長。

○住民課長（小谷条治君）

これ以外の空き家ということではありますが、特定空家として今のところ指導などを行っているのではありませんので、当分の間はそういう状況にはならないというふうに思っております。今までは助言の段階で大体のものは対応していただいているという状況でございます。

以上です。

○議長（難波武志君）

ほかに御質疑はありませんか。

6番、加藤高志君。

○6番（加藤高志君）

すみません。先ほど76ページ、子育て推進課のほう、ちょっと確認です。

これにつきましては、中段辺りの児童発達支援事業ということで上がっておりますけれ

ども、先ほど黒田議員さんへの御答弁であった中で、発達障害に該当している児童数自体の話もありましたけど、これは今どき、とにかくつけて、何々発達障害と言われがちなきょうび昨今なんですけど、その可能性の小っちゃい因子も含めて、吉備中央町としてその子供さんたちを手厚く対応している、手厚く支援をしていると。決して全国に比べて吉備中央町が発達障害児が該当するような児童さんが多いというようなことではなくて、手厚いんですよと、こういう御理解でよろしいのでしょうか。

○議長（難波武志君）

答弁を許します。

石井子育て推進課長。

○子育て推進課長（石井純子君）

6番、加藤議員の質問ですが、言われるとおりで、吉備中央町としてはそういうお子さんに対して手厚いという、ざるの目が細かいというふうに私は受け止めています。ですから、本当に一般的に見てその子がちょっとというのは分からないお子様でも、やっぱり保育者であったり、それから専門の先生が対応していただく中で、あっちゃっとこの子、行動が多動だとか、こだわりがあるとかというような細かいところでそれを支援を早めにするということで、それは保護者につなげないといけないことなので、保護者と一緒になって早めの手だて、育てにくさを解消しようということをやっております。

以上です。

○議長（難波武志君）

6番、加藤高志君。

○6番（加藤高志君）

答弁ありがとうございます、感謝します。引き続き取りこぼしのない、子供たちは大切なので未来を担う宝でありますから、引き続きよろしくお願いします。ありがとうございます。

○議長（難波武志君）

質疑ありませんか。

9番、日名義人君。

○9番（日名義人君）

どの項目に当てはまるかどうかということもお聞きしたいとは思いますが、消防関係です。110、あるいはその辺りに関係するのかなという108ページの消防団運営交付

金、この辺りに関係してくるかなと思うんですが、実は1つ目は、今消防団の再編が進んでいます。私の地域では消防団が現実に隣の消防団と一緒にあって、言わば先細りとも言えるような状況が生まれています。

そういう中で、OBの人たちが今までの在庫というたらいいんですか、備わっている器具なんかを使って自主的に素早く動けるような態勢も作れたらいいんじゃないかと思ってるのでどうだろうかという話を、これは町長も聞かれていると思いますが、声が出ました。そうすると、ある意味では今までの器具を使わなくなったものをその地域で自主的に管理して使うということですから、一定の費用とか、そういうものも出てくるというふうに思いますし、実際に火事場へ、また現場へ出かけていくときには消防団との連絡関係、対応ですね、その現場での対応、そういった調整も必要になってくるでしょうし、さらに、何と云っても現場は非常に危険な場所にもなる可能性があるわけですから、そういった人たちへの災害時の補償、そういったことも課題になってくるように思うんです。

今のところ、私自身は地元のことから起こっている声ですから、なるほど、積極的な対応というふうに受け止めて担当課にもつなぎましたが、現実に予算書を見るとどこの部分から今提起したようなことが整備されていくのだろうかというふうに思いますので、その辺り、どう受け取っておられるか、または一定の方向があれば聞かせていただこうと思います。

ぜひそういった地域の好意を実現させていく、いろいろ聞いていますと、放送を元に実際の火事の現場に消防団が駆けつけても、実際には消防団よりもその地域の人たちのほうがたくさん最初に集まってくる。そしたら消防団といっても現実には仕事を持っているわけですから、素早く対応できないというふうなことかてよく耳にしますので、そうなるとなおのこと地域でのそういった自主的なとは言いながら、動きというのは貴重な動きになっていくんじゃないかと思っておりますので、ぜひ配慮のある答弁をお願いしたいと思います。

○議長（難波武志君）

答弁を許します。

山本町長。

○町長（山本雅則君）

ここもどこか一項目の予算金額についてかなと思ったんですけど、全般的な消防の御心配でございます。この消防につきましては、何かあったときに一番頼るのは間違いなく消防団です。その消防団が、言われたとおり団員数がなかなか確保できず減ってきておりま

す。言われた津賀の地域もそうでございます。

そうした中で、誰でも消防活動をやっていただいているというものでもございません。やはり危険が伴います。そこで、大きな人力としまして、やはり訓練を積んだ消防団のOBの方、間違いなくすごい力になります。その方々の応援がこれから私は必要だろうと思います。ただ、消防団は組織でございますので、その組織にどういう位置づけでなされるかとか、それから言われたような身分保障、そして災害時、けがも伴います。そのけがの補償等々でございます。その辺しっかり、今も打合わせはしておりますが、消防団ともまた消防署とも連携が取れんといけませんので、その辺しっかり煮詰めまして、必要であれば今後予算化もしていきたいと思います。また、この予算の中で使えるものがあればこの予算も使って、そのような対応はしたいと思います。

○議長（難波武志君）

9番、日名義人君。

○9番（日名義人君）

基本的には提起をそのスタートの時点、現場では、さあいつからどういうふうに声がかかるかなというふうにも思っておられるようです。ですから、一定のスケジュール的な、そういう対応がこんなふうにして体制が作られていくという行程的なものも地元の説明を素早くしていただいて、せっかくの好意が実る、スタートしたという状況が望まれるかなと思いますので、よろしくをお願いします。

○議長（難波武志君）

山本町長。

○町長（山本雅則君）

しっかりと消防団と協議をしまして、やるからにはスムーズにやらないと駄目でございますので、煮詰めた話も消防団とやっていきたいと思います。

○議長（難波武志君）

ほかに御質疑はありませんか。

10番、丸山節夫君。

○10番（丸山節夫君）

これまでもちょっと説明のほうは聞いておりますけれども、改めまして再度お尋ねしたいと思います。

2点お伺いしたいと思います。

最初に54ページの諸費の委託料の中で、町内巡回バス路線の運行業務として600万円、その次、その下の乗合タクシー運行業務としての600万円ということで、この内容については町民の皆さんも首を長くして待たれた事業だと思っております。ちょっと直接予算とは関係ないことにはなりますけれども、これは実際にどのように内容的には進められるのか、この点について1点お尋ねしたいと思います。

それから、次に60ページ、地域振興費の負補交なんですけれども、地域創生推進交付金事業補助金2,900万円、これについては今年が最終年ということでお聞きしておりますけれども、非常に多額の出資となっております。これに伴う令和3年度の交付内容がどういったものか。それから、その事業効果についてはどの内容を想定されており、またどのような成果として見込まれておられるのか、この辺り2点についてお伺いをしたいと思います。

○議長（難波武志君）

答弁を許します。

大木総務課長。

○総務課長（大木一恵君）

10番、丸山議員の御質問の、54ページについてお答えさせていただきます。

町内循環バス路線運行業務と乗合タクシー運行業務、どの程度まで進んでいるかということでございます。現在のところ、今御覧のとおり予算づけをしているところでありますが、巡回バスにつきましては来年度の中頃から後半戦、実際に始めようと。それから乗合タクシー運行業務につきましては、拡大を後半から始める予定で動いているところですが、これに至るまでに公共交通会議等で御承認いただく部分と、それから地元を今現在走っておられるバス事業者の方々と協議を重ねながら、いろいろな細部にわたって検討して進めていく予定ではございます。

以上です。

○議長（難波武志君）

岸本定住促進課長。

○定住促進課長（岸本久夫君）

丸山議員の御質問にお答えします。

60ページの負補交にございます地方創生推進交付金事業の補助金2,900万円、これは令和元年度から事業を実施しております3年目を迎えます最後の事業となっております。

して、ちょっと内訳の詳細は持ってきておりませんが、イノベーションヒルズ事業の情報受発信ですとか、起業者の調達、ITシステムの構築、コンサルティング業務の委託、それらトップセールスと、こういった内容が盛り込まれて締めて2,900万円ということでございます。

もう少し簡単に言いますと、去年まではIT社、つまり事業実施主体の会社が直接実験をしてまいりました。今度は新たに事業に参画する起業者を募って、そういう人たちに実際の実証実験をやってもらおうと、こういった取組がメインになってまいります。

以上でございます。

○議長（難波武志君）

10番、丸山節夫君。

○10番（丸山節夫君）

最初の巡回バスまた乗合タクシーについては、時期的にはいずれにせよ新年度中盤から後半にかけてというようなことであります。町民の皆さん、かなりこれは期待とどういったものになるのか、今特に注目をされておられる内容でもあろうかと思えます。皆さんが非常に利用に際して利便性の高い使い勝手のよい、そういった事業の内容ということで進めていただけたらというふうに思います。

それから、次にお尋ねした地域創生推進交付金事業であります。これについては、大きな多額の予算ではありますけれども、これまでも含めてなかなか目に見えてないという辺りが町民の皆さん一番気にされておられるところであり、僕もそう思います。ということなので、これ今後についてはどちらも大きな内容であり、また課題も多いと思えます。この2点については、今後の進捗というものを十二分に確認をしていただきながら進めていただければということをお願いをしておきたいと思えます。

以上です。

○議長（難波武志君）

ほかに御質疑はありませんか。

2番、山本洋平君。

○2番（山本洋平君）

それでは、3点ほど質問をさせていただこうと思えます。

まず、55ページの諸費、負担金補助及び交付金の一番下の段、防犯カメラ設置支援事業補助金200万円とあります。昨年度からも防犯カメラの設置について5分の4の補助

ということでこの予算をつけていただいておりますが、本年度の実績であるとか、防犯カメラというものが地域の防犯やそういう犯罪の抑止力になるというふうに、私は以前の一般質問でも述べさせていただいたんですが、実績やその後自治会等での導入の取組などぜひ活用していただきたいんで、この辺はどういうふうに今現在なっているのでしょうか、教えてください。

それから、続きまして98ページです。商工振興費、負担金補助及び交付金、上段の創業支援事業補助金と事業承継支援補助金500万円と200万円となっております。昨年度の200万円と100万円に比べますと大幅に増額をされております。この辺の理由をお聞かせください。

そして、3個目でございます。124ページ、社会教育総務費、負担金補助及び交付金、中段のほどでございます。小学6年生みんなの絆づくり事業交付金600万円でございます。昨今のコロナの状況の中で、残念ながら本年度はこの絆づくり事業は実施できなかった経緯もあり、来年度はぜひとも実施ができることを私も願っておりますが、ここに予算を一応計上していただいているということで、現状の見通し等、何もはっきりとはおっしゃられないかもしれませんが、ありましたらお教えてください。

○議長（難波武志君）

答弁を許します。

小谷住民課長。

○住民課長（小谷条治君）

2番、山本洋平議員の質問にお答えします。

まず、55ページの防犯カメラ設置支援事業補助金でございますが、令和2年度は5台、100万円の支出をしております。これにつきましては、地域の防犯に大変役立っていると思います。現地のほうも確認させて検査はさせていただきました。今後でございますが、大変防犯や子供のために犯罪防止のためになることでありますので、広報等ですっかりPRをして広めていきたいというふうに思っております。

令和2年度も問合せ等は幾らかほかにもありましたが、設置のほうは、まだ申請のほうはできてないので、今年度、令和3年度は幾らかあるのではないかなというふうに思っております。

以上です。

○議長（難波武志君）

河内協働推進課長。

○協働推進課長（河内啓一郎君）

それでは、2番、山本洋平議員の2つ目の御質問についてお答えをいたします。

ページが98ページということで、負担金補助及び交付金の創業支援事業補助金500万円と事業継承支援補助金200万円の御質問でございます。

これにつきましては、例年では創業支援につきましては200万円の予算を計上させていただき、事業継承につきましては100万円ということで例年行っておりましたが、令和2年度におきましては、もう既に創業支援では3件の要望がございます。継承については既に2件の要望をいただいております。それに伴いまして、商工事業につきまして振興を深めるといいますか、推進する上でもここで予算を増額をさせていただきながら、来年度の事業を進めていきたいというように考えております。

以上です。

○議長（難波武志君）

富士本教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（富士本里美君）

山本議員さんの御質問です。

124ページの小学6年生みんなの絆づくり事業交付金600万円を計上させていただいております。残念ながら去年は実施することができませんでした。今年もコロナ禍の状況で、どういうふうになるかはちょっと分かりませんが、取りあえず実施できればまた鹿児島の方へというふうに思っておりますが、これについてはもう5月中には方向性を決めなければいけませんので、鹿児島は無理でも近場で日帰りというふうなことにもなるかもしれませんが、5月中には方向づけを決めたいと思っております。

○議長（難波武志君）

ほかに御質疑はありませんか。

山本洋平君。

○2番（山本洋平君）

先ほど、じゃあ3件答弁いただきました。1点目のカメラにつきましては、今後とも具体的な、どこに設置したというのはなかなか難しいと思いますが、どこどこの自治会がこういうふうを活用しているというような広報も含めてPRしていけば、より利用が図れると思いますので、その辺はよろしく願いいたします。

2点目の、創業支援補助金、事業承継支援補助金、今年度は既に例年の予算額を超える申請があるということで答弁いただきましたが、昨日採決された中小企業小規模事業法振興条例も合わせて、今後とも町の商工会や事業所と色々な策を講じながら、こういった資金の活用が多くなることを望みますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。

3点目の絆づくり事業、今代替でということで答弁をいただきました。昨年度はもう急な非常事態宣言等に対応がなかなか取れなかったこともあり、7月に実施ということで難しかったこともあると思います。来年度につきましては、1年間少し考える時間もあり5月中には決定ということで、何らかやはり子供たちが絆を作れる事業というものを実施していただけたらと思います。子供たち、非常に楽しみにしていた事業でありますし、そこに参加されるスタッフの方々もこれは楽しみにしていて、交流を深めていた町の大事な大事な事業だと思います。ぜひとも実施のほう、よろしくお願いいたします。答弁は結構です。

以上です。

○議長（難波武志君）

ほかに質疑はありませんか。

5番、山崎誠君。

○5番（山崎 誠君）

三、四点ほどです。まず予算書のページから言いますと48の音声告知放送工事請負費、設備更新1,800万余円ですけども、これは最終の家庭にあるやつじゃなくて親機と言いましょうか、そちらのほうを更新するのか、ちょっとその更新の箇所と、それから新しく更新するのは、今の機器を単純に変えるのか新たな機能も付け加わるのかということについてお尋ねします。

それから、50ページの賀陽庁舎等の駐車場整備ということで、駐車場整備事業が2,500万円ついておりまして、これ庁舎北側ということでお聞きしましたが、イベントにいろいろ関わっている方は御存じのように、旧竹中のところが使えなくなって、新たにプールのところを少し整備していただきましたけども、なかなか大きなイベントのときには豊野小学校、ちょっと遠いんですけど使わせていただいている状況です。幸い今年度、2年度はコロナで大きなイベントはなかったんですけども、こういうのも大変助かるんですが、具体的な質問は、この2,500万円で舗装したりラインを引いたりするのか、ちょっとその工事内容と、それから何台ここに駐車を予定しているのかということと、それ

から、今の旧来の総合会館前の駐車場、新たに整備された今のプールの50台でしたでしょうか、それを含めてイベント時に総台数で何台ぐらい駐車できるというふうに見込んでいるのか。

それから、次が地域おこし協力隊、あらましでは57から59となっておりますけど、58ページの地域おこし協力隊の募集業務154万円ついておりますが、依然として地域おこし協力隊の業務というのがちょっと形が全て見えない。昨年8人の方がキイトの4人と観光業務とかで4人、報告会がありました。報告を聞くと一応おぼろげながら分かるんですが、ちょっとその業務が少しまだ私は見えにくいのと、それはちょっと私の感想ですけど、具体的な質問は、まさにその地域おこしということで、町自身がこういうふうなこと、こういうプロジェクトを組んでここに地域おこし協力隊を当てようというような地域おこしの構想の基に、この地域おこし協力隊募集業務というのを154万円組んでいるのか、その辺り、地域おこし協力隊の活用といいましょうか、活用というたら来てくださる方にはちょっと失礼な表現かもしれませんが、やっぱりせっかくこの制度を使って十分にその地域おこしの、町がやっぱりプロジェクトを組んでそこに協力隊の募集をしてふさわしい人材を当てるといふようなことをお考えなのかどうか、ちょっとお尋ねしたいと思います。

それから、最後に、これはもうずっとよく議論になりますが一円舗装、105ページ、一円舗装ですけども、この数年はちょっと増額して賀陽、加茂川、3,000万円ずつで6,000万円組んでいるんですけども、現在、この一円舗装はどの議員さんも御存じのように、やっぱり道路が傷んで要望が多いと思うんですが、現在この3,000万円、3,000万円組んで6,000万円ですが、残件数というか、持ち越している、要望、申請書が出て必要度、緊急度に応じて順位をつけてこの予算内でやっていただいていると思いますが、今残件数はどれぐらい残っているのか。それは次々また傷んだ道路が出てきますけども、申請して、今言うように必要度、緊急度がありますので単純には言えませんが、平均して大体何年ぐらい申請して後には処置ができそうな、それはどういう状況なのかということをお答えいただきたいと思います。

○議長（難波武志君）

答弁を許します。

片岡企画課長。

○企画課長（片岡昭彦君）

5番、山崎議員の御質問の1つ目としまして、48ページの告知放送の改修に伴うものであります。告知放送につきましては、平成21年度から整備しておるのを今現在使っております。もう10年以上も経過して耐用年数のほうも過ぎております。いつ故障しても分からないような状況になっておりますので、2階の放送室の中にあります放送機器類を一式更新をする予定にしております。

あともう一つ、放送の内容ということですけど、今回からは新システムを導入いたしまして、音声の読み上げソフトを導入いたしまして、いわゆるAIによる放送のほうを考えております。これは文章のほうを機械のほうに読み込ませると機械のほうで判断して、文字を文章として変換して放送ができるシステムになります。

いろいろイントネーションとか心配する部分もあるんですけど、それは文字そのもの、その都度アクセント等も修正していきますので、実際我々も聞いてみたんですけど、人間がしゃべるのと何の遜色もない内容になっておりますので、それを採用して、できれば3年度の後半ぐらいから運用できるようにやっというふうに今計画しております。

以上です。

○議長（難波武志君）

大木総務課長。

○総務課長（大木一恵君）

5番、山崎議員さんの2番目の御質問、ページで言いますと50ページの駐車場整備事業のことです。

設計がまだの段階ですので詳細にはお伝えすることができませんけれども、今現在、イベントをしておりますと利用されている方にも御迷惑をかけておりますし、また駐車場として使わせていただいております豊野小学校のほうにも御迷惑をかけるようなこともありますので、このたびの駐車場の整備事業によりまして舗装とそれからラインのほうも合わせてする予定でございます。台数なんですけれども、マックス100台と言いたいところなんですけど、そのくらいが必要だということですので思っているんですけど、その辺りは設計を見ながら調整していくということにしておるところでございます。

○議長（難波武志君）

大木総務課長。

○総務課長（大木一恵君）

すみません。現在の台数がちょっと把握ができてないんですけれども、プールのところが54台でございます。あと100台とは言わないかもしれませんが、その辺りのカバーができるということで、あと総合会館の前、それから今来賓の駐車場になっておりますところ、こちらの議会棟の隣です。それと職員が駐車しております裏の駐車場です。この辺りを使っていただきまして、このエリア一帯でイベント会場のお客様の収容ができるようにというふうに考えております。

○議長（難波武志君）

河内協働推進課長。

○協働推進課長（河内啓一郎君）

それでは、山崎議員の御質問でございます。ページで58ページの委託料の2段目ですけど、地域おこし協力隊の募集業務ということで154万円を計上させていただいております。これにつきましては、いわゆる今回募集を行います塾生といいますか、塾に関します協力隊の費用にあてがうものでございます。一応2名を計上させていただいております。

その協力隊でございますが、いわゆる構成、活用ということでございますけれども、現在、協力隊8名が在籍しておりましたが、ここで塾が2名退職をいたします。観光も2名退職するということで、塾と観光、これは観光部門では3名と吉備高原都市の活性化と塾のPR、あるいは吉備プラザの活性化ということで1名ございまして、塾が5名、観光で今4名というようなことで行う予定にいたしておりますが、いわゆる観光部門なんですけれども、これにつきましては、町長とも協議をいろいろさせていただいております。ございまして、いわゆる分野を定めたような地域に振興ができる、そういった協力隊も含めて今検討協議をいたしております。

以上です。

○議長（難波武志君）

岡本建設課長。

○建設課長（岡本一志君）

5番、山崎議員の4番目の御質問です。予算書の105ページの中段になります工事請負費の一円舗装につきましてお答えさせていただきます。

誠に申し訳ないんですけど、現在の件数、詳細なものが今手元がないのでお答えできないんですが、金額的には約10億円かかるという形を把握しております。年間

6, 000万円ずつ約90か所弱をこなしておりますが、大体そのぐらいの件数が1年間で出てきますので、件数で言いますとあまり減っていないというか、減少の方向には至っていないのが現状でございます。

それから、何年ぐらいでできるのかということで、申請から何年でできるというような実は扱い方をしておりませんで、今は自治会長様からの申請という形で受けさせていただいております。主に生活に密着して利用度の高い箇所、危険な箇所、それからもともとの一円舗装の考え方であります個人の生活道のレベルを上げるという形の個人の生活道の舗装、オーバーレイ、新設、これを基本的に行っておるというのが現状でございます。

その十何年前には個人からの申請を全部受けていたという形のことがございます、これには田んぼに入る進入路、1枚だけの進入路、長いから草刈りが大変だからという形で申請されておるような件数もございまして、10年たつからもうしなくてはならないということもございますが、現時点で利用度の高い、危険度の高いところを優先してさせていただいておるという形で御了解いただければと思います。

説明は以上です。

○議長（難波武志君）

5番、山崎誠君。

○5番（山崎 誠君）

告知放送で身近にAIが入るということで、どんなものになるやら期待しておりますけれども、またそれはいつかの時点でどのようなものか見せていただきたいと思います。聞き取りやすい的確な放送ができることを期待しております。

それから、賀陽庁舎の駐車場の北側整備ですけれども、大体マックス100台ぐらいをめどに造るといふか、新設するということですが、あそこもあるここもある、前もあるというのは分かった、大体私も台数分かるんですが、合計でイベントに使えるというのは、ちょっとそれお答えなかったんですが、それが後で調べれば分かりますけれども、今お答えできれば、大体イベント、総合会館、レインボーホールであるときあそこ974入るので、500名を超えて、500台を超えるといろいろ困るんです。ちょっと把握のために、もし今の段階で分かればそういうイベントに使える駐車場のスペースは、例えば400台ありますよとか、ちょっとお答えいただければと思いますが、分からなければ後でまた調べます。

それから、地域おこし協力隊のことですけれども、ちょっとメンバーも任期が来て変わる

ということでございましたが、前々から同僚議員なんかも指摘が出ておりますように、これも大変失礼ですけど、県内のとある自治体では、いろんな自分の町でテーマを決めて連携を組んで、もう二十数名、そこでいろんな起業をしている、あえて自治体名は申しませんけども、やっぱり以前から指摘しておりますように、公営塾の場合は目的を持ってきて、今の観光事業もいろいろやられているスキルの高い方もおるということも知っています。それ以外の町にとって本当に地域おこしに必要なプロジェクトというものを考えていただいて、そこに必要な地域おこし協力隊の人材募集というのをぜひともやっていただきたいと、このように思いますので、そのあたり、いま少し考えているということで答弁したけども、改めてその辺りを強く考えて企画していただきたいと思っておりますので、お願いします。

それから、今の一円舗装はなかなか申請してもということで、これは担当課が頑張っても予算の枠がありますので仕方がないんですが、この辺り、ほかの全体予算から今まで一円舗装だけを増やすということはなかなか困難だと思うんですけども、今の現状を聞いて、町長、この一円舗装についての6,000万円、これずっとここで推移しております。ある意味では安定的に施工されているわけですが、ある意味ではほとんど要望に十分応えて残りの件数は減っているという状況ではないというお話で今の担当課のお答えでしたので、この辺り、今年度はこの予算で一応承認をとというふうに考えておりますけども、来年度とかいろんな年度でその一円舗装の予算についてはどのようにお考えか、お聞きしたい思います。

○議長（難波武志君）

答弁を許します。

山本町長。

○町長（山本雅則君）

もう議員御存じのとおり限りある財源でございます。その財源を本当に知恵を絞って、四苦八苦して予算編成をやっております。福祉もこれからまだまだ伸びます。それから教育にもお金がかかります。そうした中、やはりこの一円舗装も大事なものは重々分かっております。しっかりと予算編成時にはその財源の中で、どこに、また集中的に使うもの、ある程度我慢するものを見極めて予算編成に挑みたいと思います。

○議長（難波武志君）

ほかに御質疑はありませんか。

大木総務課長。

○総務課長（大木一恵君）

駐車場整備事業の台数のことについて、今ざっと計算いたしましたら、確かに400台ちょっと切るかと思います。スタッフの駐車も必要になってまいりますので、やはりちょっと難しいなという感じはいたしますが、駐車場の整備の、今度する整備事業につきましては、台数の確保を今一番に考えております。それと裏の県道側からも入れるようにということも考えながら、交通事故等がないように、そういったところも配慮しながら接続ができるようにというふうなことを第2番目に考えて設計するようにお願いします。

○議長（難波武志君）

ほかに御質疑はありませんか。

7番、河上真智子君。

○7番（河上真智子君）

1点だけお尋ねしたいと思います。

110ページの一番上、消防関係なんですけど、機械器具費というのは備品購入費、大体どのようなものを設定されているのでしょうか、お聞かせください。

○議長（難波武志君）

答弁を許します。

大木総務課長。

○総務課長（大木一恵君）

110ページの備品購入費、機械器具費のことです。

こちらのほうは、アナログ式の行政無線の使用期限が参りますので、そのためにIP無線に切り替えるその購入費となります。こちらのほうが大きく増額している理由でございます。

○議長（難波武志君）

7番、河上真智子君。

○7番（河上真智子君）

IP無線で通信が非常にやりやすくなる。ラインを利用した無線と聞いてますが、町内でやはり携帯電話の通じない場所がありますよね、そういうところも対応できますか。

○議長（難波武志君）

答弁を許します。

大木総務課長。

○総務課長（大木一恵君）

確かにおっしゃるとおり、今の段階でいささかその携帯電話が不通になるところもございますので、その辺りのところは別途配慮すべきだろうかと思っております。

○議長（難波武志君）

7番、河上真智子君。

○7番（河上真智子君）

ぜひ山間部のところでなかなか消防車もたどり着けない、連絡がしにくいようなところの連絡も十分行きますよう、そういった岡山市の消防局との連携もうまくいきますように調整のほう、ぜひお願いしたいと思います。

それと、付け加えなんです、今消防団の団員さんたち人数も減ってるということで、しかも平日お勤めの方が多くてなかなか野焼きとかの火事があっても出動数が少ない。そういう場合もあるんですが、その後の事後処理、例えばホースの洗浄とか干した後の巻き取りとかにかなり負担が一部の人だけにかかっていることもありますので、今回すぐには申しませんが、そういうことに対しての省力化の装置、そういうものの導入もぜひ考えてあげていただきたいと思います。

以上です。

○議長（難波武志君）

ほかに御質疑はありませんか。

3番、石井壽富君。

○3番（石井壽富君）

3番、石井壽富です。

ちょっとこれ、この質問は予算審議の分と外れるんですけども、ちょっと窓口で質問がしにくい部分で少し町長、失礼なんですけどもよろしくお願ひしたいと思います。

これなぜかといえば、18ページ19ページに軽四の軽自動車税が5,200万余円、あるいはたばこ税も5,000万余円という収入があります。それと法人事業税が吉備中央町全体で4,500万余円というふうな金額になっております。これちょっと少し工場の数、いろんな規模のあれからしてなぜかなというふうに、寂しい部分があるわけでございます。

それで、窓口で少しお伺いしにくいなという分が、公債費の利息も4,800万余円の

金額が数字で出ております。この部分は資金繰り等との、先ほど町長の限られた予算の中でというふうな言葉も含めまして、どのような工夫と対策がなされておるのかなという部分をお伺い、ちょっと一般質問的なことで非常に申し訳ないんですけども、その部分で少し参考といたしたいと、このような考えで質問いたしております。

以前は5%、6%、今は法的には利息は4.5%以内というふうなことになっておりますけれども、この辺りが一般的に書換え、切替えというんですか、その部分の利息の部分がどれぐらいなパーセンテージ、はっきりしたことは金融機関等の入札の部分もありましようから、はっきりとしたパーセンテージまでは言わんのですけど、大まかなところでどれぐらいな利息分でこの4,800万円という部分が示されておるのかなという部分でございます。少し御答弁がいただければ参考資料にしたいと、このように思っていますので、よろしくお願いをしたいと思います。

○議長（難波武志君）

答弁を許します。

大木総務課長。

○総務課長（大木一恵君）

公債費の利子ということで計上させていただいている部分がございます。今利子のほうが非常に安いということでもありますけれども、入札をさせていただきまして、それぞれの金融機関のほうで求めて、安い利息のところとかで契約をさせていただいているという、入札でやっておりますので、よろしくお願いをいたします。

○議長（難波武志君）

ほかに御質疑はありませんか。

3番、石井壽富君。

○3番（石井壽富君）

安い部分でというのは重々分かりました。この部分で町長、やはりこういったことの、窓口で我々議会が問うというのがなかなか難しい部分なので、といいますのも、コロナの関係で今国庫のほうで1起業で6,000万円ぐらいなあれも、金融機関が相当今動きが、いろんな部分があります。それで、私はやはりこの事業法人税、これはもう議会にも企業誘致という部分がありますんで、これ以上の企業誘致を進めるということには、ある程度いろんな条件、スーパーシティ含めてですけども、それよりも本社機能を我が吉備中央町に持ってくるという今私なりの努力もしておるわけでもありますけれども、その部分に

おきまして少し経営者の方々が言われるのが、某吉備中央町高原支店と、その部分は、これ民間のこの対のあれはできるんですけど、企業的な専門のあれがないんですね。じゃあえ、そこら辺りを少し今現在あるのは高梁が対応ということなので、非常に金融的な部分と企業との絡みというのは生命線でありますので、スーパーシティ構想含めて、こういった部分もやっていただく、あるいはまたハッカーの部分、ハッカー、セキュリティーができんからハッカーというんですけど、海を渡ったあの辺あたりをしっかりと町長の首長としての交渉をこれからしていただいて、できるだけ税収を増やしていかないと、いろんな町民に対しての行政サービスが少子・高齢化によって膨らんでおりますので、これに対応していくという部分の基をしっかりとやっていただけたらなと、これは予算の部分と関係ありませんので、答弁は求めるというよりも、もし御答弁があれば下さればよろしいし、こちら側のそういった思いでこの数字というものを今私も勉強しとるところであります。よろしくをお願いします。

○議長（難波武志君）

山本町長。

○町長（山本雅則君）

石井議員言われるとおり、本当に税収が落ち込んでおります。その中でもこの法人税、落ち込んであります。これはもう経済が少しコロナ等々で低迷して、その企業の方も困っておられるということが一番大きな要因でございます。ぜひコロナがある程度落ち着いて経済が回って、それぞれの企業がまた活発な活動をしていただければ、また税収は伸びるんだらうと思っております。

また、これ以外にも、先ほど言われたように本社機能、ぜひ移していただきたいです。その移していただくための環境整備も、町は努めていかなければならないと思っております。ぜひ本当にコロナが終息するのを今は願っております。

○議長（難波武志君）

ほかに御質疑はありませんか。

3番、石井壽富君。

○3番（石井壽富君）

すみません、予算のこれ、僕の数字のあれでないもので、大変失礼な質問ではございました。しかし、この部分が私とはとにかく経済と色々な部分の、コロナが終息をしてとにかく今外資系の進入ということが各金融機関も非常に厳しいような状況であります。だか

らもしもそういうふうなことに吉備中央町、ならない手だてというものもやっぱり首長としてしっかり考えていただけたらなということで終わります。

以上であります。

○議長（難波武志君）

ほかに御質疑はありませんか。

1番、成田賢一君。

○1番（成田賢一君）

60ページの59、60ページ、地域振興費の中で、ちょっと私もいろいろ読んだり資料を調べたりするんですけど、なかなかぱつとこう、事業内容が分かりづらいものがありますので、これに今の予算のことと内容と、これをこうやったらこう地域に、この町内にこういういいことがあるんだということを教えていただけたらと思います。生きるものに優しい町づくり連携事業負担金についてです。お願いいたします。

○議長（難波武志君）

答弁を許します。

河内協働推進課長。

○協働推進課長（河内啓一郎君）

それでは、1番、成田議員の御質問にお答えをいたします。

60ページの地域振興費の負担金補助及び交付金の、生きるものに優しい町づくり連携事業の負担金ということでございますが、これにつきましては、吉備中央町と広島神石高原町との協定を結んでおります。これにつきましては、吉備中央町ではサンクスホースプロジェクトで、いわゆる競走馬の養成と申しますか、2世を振興するとい申しますか、をリトレーニングいたしまして、競走馬から、昨日も御報告させていただきましたけど、いわゆる競走馬をリトレーニングいたしまして伝統行事、そういったものの馬にリトレーニングさせていただくというような、いわゆる生き物を大切にすることと、神石高原町につきましては、犬の殺傷をゼロにするというところで、広島県ではそれを行っております。いわゆるその2つの事業を協定を結んだものがこちらの連携事業に関わります負担金でございます。

この協定につきましては、平成29年11月13日に協定を締結いたしまして、今日まできている状況でございます。ちょっと内容が前後しますが、広島神石高原町では、いわゆる犬の殺傷、ピースワンジャパンプロジェクトというような連携でございます。吉備中

央町ではサンクスホースプロジェクトというこの2つの事業で、年間負担金を各25万円ずつ集めまして事業を進めているところでございます。

以上です。

○議長（難波武志君）

1番、成田賢一君。

○1番（成田賢一君）

連携事業の内容は教えていただけますか。それぞれの事業の内容は分かるんですけど、連携してする事業の内容です。

○議長（難波武志君）

答弁を許します。

河内協働推進課長。

○協働推進課長（河内啓一郎君）

令和2年度につきましては、コロナウイルスの関連で事業を断念せざるを得ないことになっております。例年でしたらそれぞれの町が寄り集まりまして、隔年で事業を進めております。令和元年度につきましては吉備中央町のほうにこの事業に携わる方々をお迎えをいたしまして、例えば絵画、絵を描いて生き物を守ろうというようなことで、そういった事業も進めておりますし、そういった方々が集まってそれぞれの内容を、生き物に関する内容、吉備中央町ではブッポウソウの絵画、絵などを展示いたしまして、それぞれこの事業を進めていくというような様子でございます。

以上です。

○議長（難波武志君）

ほかに御質疑はありませんか。

〔「なし」の声〕

○議長（難波武志君）

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

討論を省略し採決したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声〕

○議長（難波武志君）

異議なしと認めます。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

○議長（難波武志君）

全員賛成です。したがって、議案第20号、令和3年度吉備中央町一般会計予算については原案のとおり可決されました。

会議の途中ですが、ただいまから10時50分まで休憩します。

午前10時40分 休憩

午前10時50分 再開

○議長（難波武志君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

~~~~~

○議長（難波武志君）

日程3、諮問第1号、人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについてを議題とします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

小谷住民課長。

○住民課長（小谷条治君）

それでは、諮問第1号について説明いたします。

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて。下記の者を人権擁護委員の候補者として推薦したいので、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求める。

氏名、山根啓史。住所、黒土1837番地1。生年月日、昭和30年4月20日。令和3年3月4日提出。吉備中央町長、山本雅則。

人権擁護委員は、人権擁護委員法に基づいてその職務を行います。法務大臣が人権擁護委員を委嘱するに当たっては、まず町長が人権擁護委員にふさわしい候補者を選び、議会の意見を聞いた上で地方法務局へ推薦します。そして、法務局で県の区域内の弁護士及び県人権擁護委員連合会に意見を求めて検討した後、法務大臣が委嘱します。

現在、人権擁護委員をしていただいております5名の方のうち、1名の任期が終了となりますので新任のお願いするもので、任期は令和3年7月1日から令和6年3月30日までの3年間でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（難波武志君）

これで提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。

御質疑はありませんか。

〔「なし」の声〕

○議長（難波武志君）

御質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

諮問第1号、人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについては、山根啓史氏を適任とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声〕

○議長（難波武志君）

御異議なしと認めます。したがって、諮問第1号、人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについては、山根啓史氏を適任とすることに決定しました。

~~~~~

○議長（難波武志君）

日程第4、同意第1号、教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについてを議題とします。

暫時休憩します。

午前10時53分 休憩

午前10時55分 再開

○議長（難波武志君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

提出者から提案理由の説明を求めます。

山本町長。

○町長（山本雅則君）

それでは、同意第1号、教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて。下記の者を教育委員会の教育長に任命したいから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により議会の同意を求める。

記。住所、吉備中央町上竹804番地、氏名、石井孝典、生年月日、昭和35年7月

14日。令和3年3月4日提出。吉備中央町長、山本雅則でございます。

少し石井孝典さんの経歴等を報告させていただきます。

住所がありますように、上竹の出身でございます。現在、岡山県立鴨方高等学校の校長をされておられます。上竹の地から61キロ離れた鴨方の高校へ毎日通われておられます。この3月で定年を迎え、現在60歳でございます。

その間、勤務といたしましては、初任地が高梁高校有漢分校から始まっておられます。そして、その途中は国体準備室またスポーツ振興課、競技力対策課等々、岡山県の教育庁の中の体育部門を務めておられます。そして、平成30年からが鴨方高校の校長さんという経歴の方でございます。

この経歴を見ても分かりますように、石井さんは学校教育、また学校行政についても大変見識を多くお持ちの方でございます。また、この教育長に当たりましての任期は令和3年4月1日から3か年の任期でございます。ぜひよろしく願いいたします。

○議長（難波武志君）

これで提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。

御質疑はありませんか。

〔「なし」の声〕

○議長（難波武志君）

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

討論を省略し採決したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声〕

○議長（難波武志君）

異議なしと認めます。

本案はこれに同意することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

○議長（難波武志君）

全員賛成です。したがって、同意第1号、教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについてはこれに同意することに決定しました。

お諮りします。

ただいま西山宗弘君外3名から発議第1号、選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書についてが提出されました。

また、各常任委員長、議会運営委員長及び特別委員長から閉会中の特定事件の調査についての申出があります。

この際、これらを日程に追加し、直ちに議題としたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声〕

○議長（難波武志君）

異議なしと認めます。したがって、発議第1号、選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書について、閉会中の特定事件の調査についてを日程に追加し、直ちに議題とすることに決定しました。

暫時休憩します。

午前10時58分 休憩

午前11時01分 再開

○議長（難波武志君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

~~~~~

○議長（難波武志君）

追加日程1、発議第1号、選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書についてを議題とします。

事務局に朗読させます。

○議会事務局長（杉原宏典君）〔発議第1号朗読〕

○議長（難波武志君）

ただいま発議について朗読しましたが、提出者から補足説明がありましたらお願いします。

〔「なし」の声〕

○議長（難波武志君）

本案に対し、御意見、御質疑はありませんか。

〔「なし」の声〕

○議長（難波武志君）

意見、質疑なしと認めます。

これで意見、質疑を終わります。

討論を省略し採決したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声〕

○議長（難波武志君）

異議なしと認めます。

選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書についてを議題としましたが、本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

○議長（難波武志君）

賛成多数です。したがって、発議第1号、選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書については原案のとおり可決されました。

~~~~~

○議長（難波武志君）

追加日程第2、閉会中の特定事件の調査についてを議題とします。

各常任委員長、議会運営委員長及び特別委員長から、会議規則第75条の規定により、お手元に配付しております閉会中の特定事件の調査についての申出があります。

お諮りします。

本件については、各委員長申出のとおり、閉会中の調査とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声〕

○議長（難波武志君）

異議なしと認めます。したがって、各委員長からの申出のとおり、閉会中の調査とすることに決定しました。

以上をもって本定例会に付議された事件の審議は全て終了しました。

この際、町長の御挨拶があります。

○町長（山本雅則君）

令和3年第1回定例議会の閉会に先立ちまして、一言御礼の御挨拶を申し上げます。

皆様方には、20日間という長い期間、また多くの議案を慎重審議賜りましてありがとうございました。そして、その全ての議案につきまして可決を賜り、心よりうれしく思う

ところでございます。

今回のこの当初予算につきましては、大変困難な中での予算編成をさせていただきました。しかし、今やらなければならないという強い思いで編成をさせていただきました。本日、承認可決賜りました。一刻も早くこの予算を4月になりましたら遂行し、ぜひ皆様方と元気な明るい吉備中央町を創っていきたいと思っております。

新型コロナ感染につきましては、全国で非常事態宣言が解除されました。しかしながら、安心できる状況ではございません。あの人の流れ、またここに来て感染者数は若干増えてきているような状況でございます。町といたしましても、しっかりこの新型コロナウイルス対策はこれからも進めていこうと思っております。また、町民の皆様方におかれましては、これからも引き続きマスクの着用、手洗い、消毒そして3密にならないように守る、その基本をしっかりとこれからも行っていただきたいと思っております。

本日は大変ありがとうございました。

○議長（難波武志君）

これで、令和3年第1回吉備中央町議会定例会を閉会とします。

御苦労さまでした。

午前11時08分 閉会